

科目名		必修・選択	単位数	類型
地理探究		選択	3	共通
教科書 副教材等	教科書：『新詳地理探求』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）【継続使用】 副教材：『新詳地理資料 COMPLETE 2024』（帝国書院）【継続使用】 『ニューコンパスノート地理 2024』（東京法令出版）【継続使用】			

1 学習目標

グローバル化・情報化が進んだ現代にあつて、地理を学ぶ意義はより一層増しているといえる。世界約75億の人類は、ともに共生の道を模索しなければならない。

それには相互依存の現状を知ることが不可欠である。

そして、その背景となる各国・地域の置かれた環境や生活・文化を理解することも必要となる。

さらには、人口問題、食料問題、環境問題、資源・エネルギー問題、民族・領土問題などの地球的な課題の現状と、その解決に向けた方策を探ることも大切である。

地理を学習することによって世界への認識を深め、ボーダーレス時代における日本人のあり方・生き方を考えていくことが、君たちにとっての課題であり、最大の学習目標といえる。

2 学習概要

- ・現代世界の地理的諸課題のうち、人口問題、都市・居住問題、民族・領土問題を取り上げ、その規則性や傾向性、そして、それらの要因を系統地理的に考察していく。
- ・現代世界の系統地理的な特徴を、視点を変えて地域的な枠組みから検討し、地域の変容や構造について歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に考察し、地域的特色や地域の課題を考えていく。

3 学習方法

(1) 授業への取組

- ・覚えるべき事項はもちろん覚えなければならない。しかし、暗記することが地理を学ぶ本質ではない。暗記一辺倒ではなく、その事象が起こるしくみをよく理解した上で覚えることが肝要である。常に、「なぜ？どうして？」と追究する姿勢で臨もう。
- ・わからないときは周りの生徒や担当教員に積極的に質問をしよう。不明な部分をそのままにしないで、一つ一つ解決していくことを意識しよう。

(2) 家庭学習

- ・授業前に教科書を一読しておく、授業内容がよく理解できる。
- ・日頃からテレビのニュース番組に関心を持ち、取り上げられた場所などを地図帳で調べる。

4 評価について

(1) 評価方法

評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テスト・リピーノートなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：定期考査・授業プリント・グループでの話し合いなど

「学びに向かう力 (③)」：授業態度・授業中の発言・レポートの内容など

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価基準	○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで、現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。	○地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

5 学習計画

期	単 元 名		学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
1 学 期	第1部	現代世界の系統地理的考察	形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。	中間 考 査
	第1章	自然環境		
	1節	地形		
	2節	気候		
	3節	日本の自然環境		
	4節	地球環境問題		
	第2章	資源と産業		
	1節	農林水産業		
	2節	食糧問題		
	3節	エネルギー・鉱産資源		
	4節	資源・エネルギー問題		
	5節	工業		
	6節	第3次産業		
			産業について、よりよい社会の実現を視野にそぞでみられる課題を主体的に追究しようとする事。	期 末 考 査
2 学 期	第3章	交通・通信と観光、貿易	交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。	
	1節	交通・通信		
	2節	観光		
	3節	貿易と経済圏		
	第4章	人口、村落・都市		
	1節	人口		
	2節	人口問題		
	3節	村落と都市		
	4節	都市・居住問題		
	第5章	生活文化、民族、宗教		
	1節	衣食住	宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。	中 間 考 査
	2節	民族・宗教と民族問題		
	3節	国会の領域と領土問題		
	第2部	現代世界の地誌的考察		
	第1章	現代世界の地域区分		
	1節	地域区分		
	第2章	現代世界の諸地域		
	1節	中国		
	2節	韓国		
	3節	ASEAN 諸国		
	4節	インド		
	5節	西アジアと中央アジア		
	6節	北アフリカとサハラ以南アフリカ		
			諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。	期 末 考 査
3 学 期	7節	EU 諸国	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野のそぞで見られる課題を追求しようとする事。	
	8節	ロシア		
	9節	アメリカ		
	10節	ラテンアメリカ		
	11節	オーストラリアとニュージーランド		
	第3部	現代世界におけるこれからの日本の国土像		
	第1章	持続可能な国土像の探求		
	1節	将来の国土のあり方		
	2節	持続可能な日本の国土像の研究		
			現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現すること。	学 年 末 考 査